

# 学びの 広場

## 押し花で心の安らぎを



「六郷中チャレンジ教室」



「美郷フェスタ押し花展示コーナー」

暦の上ではもう冬だというのに、押し花サークルの教室の中は出番を待っている花でいっぱいです。

私が押し花と出会ったのは12年前。初めて押し花の色に感動し、つたない作画であれ作品が仕上がった時はとても嬉しかった、道を歩いていてもみな押し花の材料に見えてしまう、そんな喜びがありました。

その思いを伝えたくて毎月第1・3金曜日の午後1時からと午後7時から、六郷公民館でサークルを開催しています。

美郷の豊かな自然に感謝し、その恵みを少しずつ分けていただき、素材を専用乾燥マットで押ししていきます。四季折々の花や野の花・野菜・果

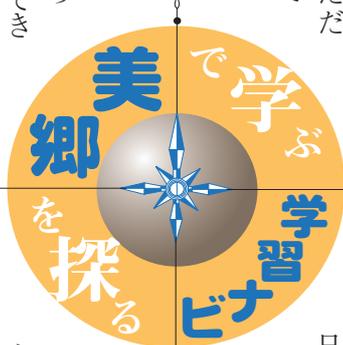
実・雑草までも色鮮やかに押し花にすることが出来ます。作品づくりでは自由で、自分らしく、楽しく小物から花絵額まで幅広く学ぶことができます。

美郷フェスタでは多くの方々にご覧いただき、また、六郷中学校PTA主催のチャレンジ教室では年齢もさまざまな参加者に花絵額や葉書作りを体験していただきました。

心と押し花で、少しでも「仲間づくり」「生きがいづくり」のお手伝いができれば幸いです。

見てみたい、やってみてみたいと思った時は気軽に教室をのぞいてみてください。お待ちしております。

(生涯学習奨励員 澤村 妙子)



板碑は、死者の追善供養のために、鎌倉時代から江戸時代初期にかけて盛んに建てられた卒塔婆の一種です。美郷町天神堂地区では、5か所で7基の板碑が見つかっており、町の文化財に指定されています。

菅原神社境内には3基の板碑があり、向かって左側に阿弥陀如来碑、中央に真澄永治碑、右側に釈迦如来碑となっております。真澄永治碑には、阿弥陀如来を表す種字(キリク)が刻まれており、種字の下には永徳二年四月十八日敬白と造立年月

日が刻まれています。いずれも、明治の中頃に段塚より菅原神社に移され、現在に至っております。

耳取伊藤家には種字(サク)が刻まれている勢至菩薩碑、耳取佐藤家には四平清水と呼ばれる寒泉の中にある大日如来碑、小出伊藤家には阿弥陀如来を表す種字(キ

リク)が刻まれる赤城弥陀碑があります。また、小出藤井家には不動明王碑が築山の頂にあります。碑面中央に不動明王(カンマーン)の重ね種子2字を組み合わせているものです。また、不動明王の板碑は貴重で県南にはこの碑と横手城にある板碑の2基だけです。

天神堂板碑群については、文政10年に菅江真澄が小出藤井家に立ち寄り調査されており、その後は深沢多市氏や小西宗吉氏、近年では佐藤巽

氏が調査されております。美郷町にはまだたくさんの板碑がありますが、天神堂板碑を一度訪ねて見てはいかがでしょう。か。(町文化財保護協会仙南支部 藤井 博)



不動明王碑

# 文化財 探訪

## No.9 天神堂板碑群

